

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

\*\*\*\*\*

- ◆「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文を日本政府に提出
- ◆トランプ次期米国大統領に広島・長崎両市長から書簡を送付
- ◆平和首長会議事務局がサントス市（ブラジル）からインターンを受け入れました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆第9回平和首長会議総会についてのご案内
- ◆平和首長会議情報システムについてのご案内
- ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆11月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：162カ国・地域 7,196自治体

\*\*\*\*\*

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ウェブサイト：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

=====

◆「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文を日本政府に提出

[11月24日]

=====

11月24日に、「第6回平和首長会議国内加盟都市会議総会」（11月7・8日）での決定に基づき、平和首長会議会長である松井広島市長と黒田長崎市東京事務所長（長崎市長代理）、そして第6回国内加盟都市会議総会開催地市長である蕨佐倉市長が外務省を訪問し、「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める内閣総理大臣宛ての要請文を岸田外務大臣に提出しました。

岸田外務大臣は「平和首長会議の皆様のお考えは、しっかりと受け止めさせていただいた。唯一の戦争被爆国だからこそ、核兵器国と非核兵器国の橋渡し役として主導的な役割を果たし、前進のために努力したい。世論形成が重要であるため、平和首長会議の協力・応援をお願いしたい。」と述べられました。

▼関連記事（平和首長会議ウェブサイト）：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/request/161124\\_jp/index.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/request/161124_jp/index.html)

▼第6回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催結果について（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/jpmeeting/6th/index.html>

=====

◆トランプ次期米国大統領に広島・長崎両市長から書簡を送付

[11月16日]

=====

ドナルド・トランプ氏が次期米国大統領に選出されたことを受け、広島市長と長崎市長は、トランプ氏に祝意を表するとともに、被爆地訪問を呼び掛ける書簡を送付しました。

▼広島・長崎両市長がトランプ次期米国大統領宛の書簡を发出（平和首長会議ウェブサイト）：  
日本語訳：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2016/トランプ次期大統領宛書簡.pdf>

英語原文：

<http://www.mayorsforpeace.org/english/topic/2016/Letter%20to%20Mr.Donald%20Trump.pdf>

=====

#### ◆平和首長会議事務局がサントス市(ブラジル)からインターンを受け入れました

[11月28日～12月9日]

=====

平和首長会議では、第8回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平成26年度から平和首長会議インターンシップを実施しています。

この事業は、平和首長会議の役員都市やリーダー都市から職員等をインターンとして広島に招へいし、平和首長会議事務局の業務に従事してもらうことにより国際的な業務の推進を図るものです。また、インターンに被爆の実相についての理解を深め、ヒロシマの思いを共有してもらうことにより帰国後のそれぞれの都市で核兵器廃絶に向けた活動の充実、加盟都市間のネットワークの強化を図ることを目的としています。

11月28日から12月9日まで、平和首長会議のリーダー都市であるサントス市（ブラジル）からインターンを受け入れました。

今年度末までに、デモイン市（米国）、モンテンルパ市（フィリピン）、マラコフ市（フランス）からのインターンを受け入れる予定です。

▼サントス市からのインターンの活動について（平和首長会議フェイスブック）：

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1674277249499668>

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1677062805887779>

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1677073119220081>

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1678552019072191>

=====

#### ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第26回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

現職の米国大統領が初めて被爆地広島を訪れた年。後世の歴史家たちは、2016年をそんなふうの評価するのでしょうか。5月27日、第44代のオバマ氏が広島市中区の平和記念公園を訪れました。滞在時間の3分の1に迫る17分に及ぶ演説では、残念ながら核兵器廃絶の具体策や原爆投下についての謝罪はありませんでした。しかし原爆による惨禍に繰り返し触れ、核廃絶への決意も示しました。大きなインパクトを国内外に与えたのは間違いありません。

そのオバマ氏の後任に、11月、トランプ氏が選ばれました。選挙中、日本や韓国の核武装を容認するなど、過激な発言で知られた人です。政治経験がないだけに、来年1月の就任後、どんな政策を打ち出すのか見通せません。核政策を含む外交政策や、国際社会がどうなるか不安に思う人は少なくないでしょう。

広島・長崎としては、原爆のきのこ雲の下で何が起きたのか、国内外に広く伝えていくことと、若い世代に継承していくことを地道に続けていくしかありません。オバマ氏訪問の歴史的意義を色あせさせないためにも必要だと、新たな年を前に、あらためて思います。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○開戦75年 反省語って 首相の真珠湾訪問 被爆者注視

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=67050>

○世界遺産登録20年 次世代へどう継承 原爆ドーム／厳島神社

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=66919>

○日本「平和のリーダーに」 広島訪問の国連難民高等弁務官 平和公園で献花し講演

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=66842>

○「被爆者気遣う人だった」 カストロ前議長死去 広島 悲しみ広がる

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=66826>

○核なき世界 高い壁実感 禁止条約推進へ 力結集 「核先制不使用 米断念」被爆者反応

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=66799>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

## ◆加盟都市の活動紹介

=====

-----  
\*平和首長会議オランダ支部  
オランダ語の平和教育教材を作成  
-----

平和首長会議オランダ支部は、10歳から14歳の小中学生を対象としたオランダ語の平和学習教材「Atoomwapens de wereld uit! (世界の核兵器をなくそう)」を作成しました。平和や自由について、また、核兵器のない世界を実現するためにできることを子どもたち自らに考えさせる内容で、オランダ支部の中心となって活動しているヴァーヘニンゲン市の市役所において9月21日の「国際平和デー」に正式発表されました。

▼詳細記事と教材へのリンク (英語、平和首長会議ウェブサイト) :

[http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2016/Netherlands\\_Chapter/Netherlads\\_Chapter\\_new\\_material.html](http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2016/Netherlands_Chapter/Netherlads_Chapter_new_material.html)

-----  
\*スペイン・バスク地方 サンセバスチャン市ほか  
平和首長会議をテーマとしたバスク地方で初めての会議を開催  
-----

11月28日、平和首長会議をテーマとしたスペイン・バスク地方で初めての会議がバスク自治州議会や自治州政府が置かれているビトリア＝ガステイス市において開催されました。未加盟都市を含む15自治体の市長・副市長、バスク自治州政府とバスク自治体連合の担当者が参加しました。州政府の担当者による挨拶、平和首長会議事務総長のビデオメッセージ上映の後、今回の会議の発起人の一人であり、バスク自治州で平和活動に取り組んでいるジョン・ムサタディ氏からの発表がありました。最後に、平和首長会議副会長都市であり、スペイン・カタルーニャ支部のリーダー都市であるグラノラズ市のジョセップ・マイヨラル市長が同市の平和への取組について講演しました。今後、バスク地方のより多くの自治体に平和首長会議への加盟を呼び掛けていくことが確認されました。

▼詳細記事 (英語、平和首長会議ウェブサイト) :

<http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2016/Basque/Basque.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

平和首長会議行動計画に基づく取組を実施する海外の都市等に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧（海外）（12月9日現在）（平和首長会議ウェブサイト）  
（リンク作成中）

=====  
**◆第9回平和首長会議総会の開催について**  
=====

平和首長会議は、来年8月7日（月）から10日（木）までの日程で長崎市において第9回総会を開催します。

平和首長会議の今後の活動計画や運営について決定を行う4年に1度の大変重要な会議ですので、ぜひ前向きに参加をご検討ください。詳しい会議日程等は、今後順次お知らせしてまいります。

=====  
**◆平和首長会議情報システムについてのご案内**  
=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を運用しています。このシステムを利用して、各加盟自治体の情報の検索、各自治体の情報の更新等をしていただくことが可能です。平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただければ幸いです。

なお、首長や担当者の氏名・連絡先等、システムに登録している情報に変更が生じた場合は、平和首長会議事務局に修正依頼するのではなく、本システムにログインし、速やかに修正してください。各自治体の情報を常に最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。まだシステムを利用したことがない自治体の担当者の方は是非一度ログインしてみてください。

▼システムのURL：<https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご質問等があれば、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Email：[mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、平成25年8月の第8回総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を平成26年度から開始しました。

11月1日から30日までに、三重県伊賀市にアオギリの苗木を配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email：[kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp)

▼FAX：082-242-7452

=====  
**◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！**  
=====

平和首長会議では、第8回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズA2版、18枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

皆様のご協力により、2016年12月1日現在、2,451,068筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly\\_updating/11\\_petitionform\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf)

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆11月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、11月に次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

\*11月2日(水) 李俊揆(イ・ジュンギョ) 駐日大韓民国特命全権大使

\*11月4日(金) ラファエル・コント スイス連邦全州議会議長

\*11月9日(水) ヌルスルタン・ナザルバエフ カザフスタン共和国大統領

\*11月11日(金) エミリオ・トリビオ・オリゴ ドミニカ共和国農地庁長官

\*11月12日(土) ジャスティン・ベダン・ンジョカ・ムトゥリ ケニア共和国国民議会議長

\*11月14日(月) フーベルト・ハイッス 駐日オーストリア特命全権大使

\*11月26日(土) フィリッポ・グランディ 国連難民高等弁務官

=====

◆平和首長会議加盟自治体数：162カ国・地域 7,196自治体

=====

今月新たに32自治体が加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は12月1日現在で7,196(162カ国・地域)となりました。皆様の御協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、12自治体が加盟し、国内加盟数は1,655(加盟率95.1%)となりました。今回、山形県高島町及び三川町が加盟したことにより、山形県内の全自治体が平和首長会議に加盟しました。これにより、1府30県において全自治体が加盟したことになります。(宮城県、秋田県、山形県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、石川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県)

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランから11自治体が加盟しました。これにより、同国の加盟自治体数は925となりました。この他、オーストラリア、アゼルバイジャン、ドイツ、ギリシャ、ノルウェー、アルゼンチンから計9自治体が加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様の御協力をよろしく申し上げます。

▼12月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2016/newmembers1612\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2016/newmembers1612_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\*本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp